

幻のさつまいも「太白」について

埼玉県農林総合研究センター茶業特産研究所
中山間営農担当 担当部長 上杉 正己

1. 中山間営農担当の概要

当秩父試験地は昭和53年に秩父農林振興センター試験部として養蚕課及びほ場管理課をもって発足しました。昭和55年にはほ場管理課を特産課と改称し、秩父地域農林特産物の開発に着手しました。平成12年4月に県農林部試験研究の組織改正により、埼玉県農林総合研究センター特産支所中山間営農担当として改組・改称、平成15年には現在の茶業特産研究所に改称され、中山間地域の特徴ある営農技術を確立するため、地域の自然条件や生産者及び消費者ニーズに対応した特産作物の開発や鳥獣害防止技術の確立のための試験研究に取り組んでいます。

2. さつまいも「太白」について

(1) 来歴

明治時代に九州地方から埼玉県に入ってきた在来品種の中から、大正7年(1918年)に埼玉県農事試験場(現在埼玉県農林総合研究センター)で選抜育成し、品種登録により「太白埼1号」と命

名されました。県では畑作物の柱として奨励品種に採用し、その後全国へ普及して行きました。国の食糧増産計画と相まって、昭和20年(1945年)には作付面積が5万5千haを越す有力な食用甘藷品種の一つでありました。

(2) 特徴

- ア いもは長紡錘型で、皮色は紅、肉色は白、甘味が強く肉質が粘質
- イ 萌芽が不良のため育苗が難しい。
- ウ 現在普及しているベニアズマ等と比較すると反当たり収量は低い。
- エ 現在では全国で11.1ha(平成18年農林水産省調べ)の栽培面積となり、幻のさつまいもと言われております。

(3) 秩父地域での取り組み

平成17年12月14日付けの毎日新聞で、今ではほとんど見ることが出来なくなったさつまいも「太白」が、秩父市内の生産者により綿々と栽培が続けられているという記事が紹介されました。この記事を読んだ消費者の反響はとてつもなく大き

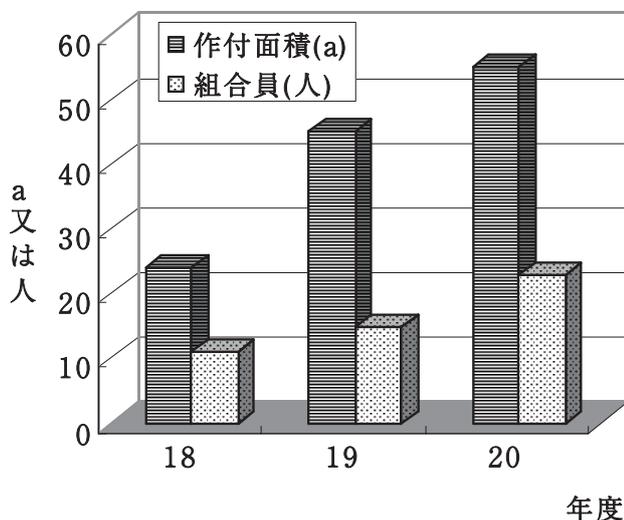


図1 太白いも作付面積と組合員数

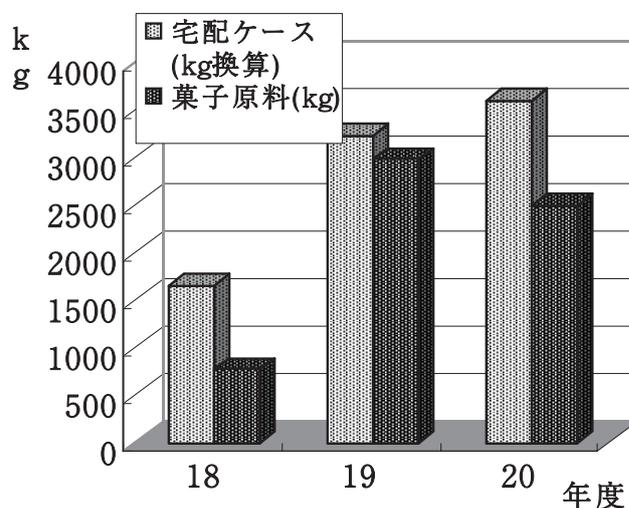


図2 太白いもの販売状況

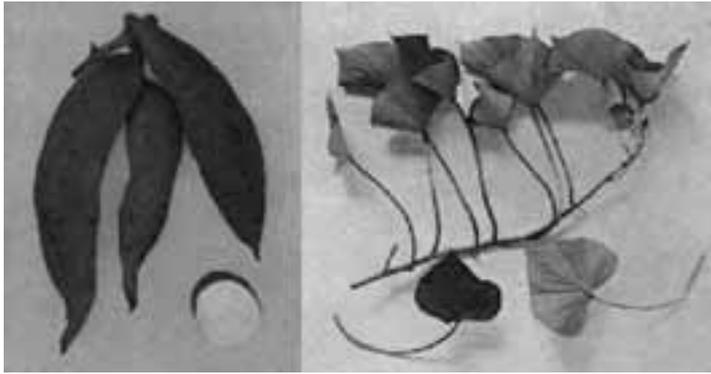


写真1 太白いもと苗

く、是非太白を購入したいという声が全国各地から数多く寄せられました。

全国からの要望に応えるため、平成18年に「ちちぶ太白サツマイも生産組合」が組織され、組合員による栽培が継続できる生産体制づくりを進め、太白の産地化を図っていくことになりました。

(4) 農商工連携への取組み

秩父市内の菓子組合から連携の申し込みがあり、さつまいも「太白」を原料とした秩父の逸品を造ろうと話し合いが進み、太白を使ったお菓子作りに取り組みました。現在では、10種類程度のお菓子が商品化され、秩父を訪れた観光客には市内のおみやげ店などで購入できます。

(5) 中山間営農担当「太白」の取組みについて

秩父地域の新たな特産ブランド品の産地形成に資するため、平成19年～平成20年に「①育苗技術



写真2 太白いもの堀取り状況

の開発②生産性向上を図るための栽培技術の開発④品質保持を図るための保存法の検討⑤付加価値を高める加工法の開発」についての研究を進めました。

その結果、育苗技術の開発では、温床育苗法は太白育苗に有効であり、生産性向上を図るための栽培技術では土壌改良と栽培期間120日前後に設定することで、芋の収量及び秀品率が増加することが明らかになりました。品質については、対照の紅アズマと比べ食物繊維とカルシウムを非常に多く含有していることを明らかにしました。保存方法については、ユニット型稚蚕人工飼料飼育施設を使用し、温度平均14℃、湿度70%程度に維持することで冬期間の保存が可能となりました。「太白」の付加価値を高める加工法については、貯蔵後1週間経過しても糖度は3日目とほとんど変わらなかったことから、貯蔵温度を37℃、貯蔵期間を3日間にする事で太白の糖度を上昇させる方法を考案しました。

3. その他の研究

中山間営農担当は、上記研究のほか秩父地域で生産が盛んな「中津川いも(ばれいしょ)」の研究にも取り組んでいます。「中津川いも」の特徴は、山間地のやせた土地でも生育する。皮がうす紅色でなめらかである。肉質にねばりがあり、串にさしても崩れない。標高400～500m以上でないと栽培できないと言われていています。名前の由来は、旧大滝村中津川地域(現秩父市)で栽培したのが始まりで、「中津川いも」と呼ばれるようになりました。栽培状況は、秩父市大滝の中津川地域で栽培が続けられています。中津川いもは秩父地域では田楽いもとして親しまれており、収穫時期には農産物直売所でも販売されています。

また、中山間地域は鳥獣害の被害発生が多く、鳥獣害から農作物を守る技術開発にも取り組み、「白落くん」など被害防止対策の研究成果を公表しています。